町会の将来と地域コミュニティーの再構築について

～ 町会を守り、地域運営組織で支える　持続可能な地域づくりを目指して ～

現状と課題

- 少子高齢化・人口減少が進行
- 高齢化率の上昇（東部地区 約60%）
- 担い手不足・役員の高齢化
- 町会加入率の低下・未加入者との分断
- 行事のマンネリ化・事務負担の増加
- このままでは消滅する町会が増える可能性が高い



東部地区の状況

- 山の中の8町会が関係
- 高齢化率 約60%
- すでに次の取組が実施されています



予約型 乗り合いタクシー



通院や買い物などの移動を支援

高齢者宅等の除排雪支援事業



冬期間の安全な生活を支援

セブンイレブン 移動販売



食料品などの買い物を支援

議員の主な提案ポイント

1. **地域リーダー人材の育成**
   （地域を知り、マーケティングなどの研修環境を充実）
2. **企画・営業力のある人材の配置**
   （マンネリ化した行事からの脱却）
3. **事務処理能力のある人材の配置**
   （行政・会計などの実務を担う人材）
4. **多様な主体の参加**
   （企業・市民団体・学識経験者・学生など）
5. **活動に見合った報酬の提供**
   （ボランティアではなく、持続可能な仕組みに）

目指す姿（イメージ図）　～ 町会と地域運営組織が連携・補完し合う新しい地域コミュニティー ～

現在のイメージ

町　会

- 清掃・草刈り・祭りなどの行事
- 回覧・連絡調整
- 役員の負担が大きい
- 担い手不足・高齢化



負のスパイラル

- 担い手不足
- 役員の高齢化
- 行事のマンネリ化
- 加入率の低下
- 町会の機能低下

役割の見直し・移譲

新しい地域コミュニティーのイメージ

町会（これまでどおり維持）

- 地域のつながり・見守り
- 身近な課題の把握
- 地域の伝統・文化の継承



地域の基盤・つながり

地域運営組織
（地域版の社会福祉協議会のような法人）

- 町会の企画・事務処理をサポート
- 地域課題の解決に向けた事業を実施
- 多様な主体と連携し、地域づくりを推進



企画・実行・事務処理の中核

地域の課題解決

- 移動支援（予約型乗り合いタクシー）
- 買い物支援（移動販売など）
- 除排雪支援

など、地域に必要なサービスを継続・拡充

主な質疑応答（要約）

Q 町会の現状と今後の見通しは？

A 少子高齢化により町会運営が難しくなっているとの声があり、新たな組織体制や支援制度の構築が必要。

Q 地域運営組織はいつ設立するのか？

A 住民アンケートの分析を行い、今後、勉強会を開催。住民の協議・合意形成を踏まえ、可能な限り早期の設立を目指す。

Q 他の地区にも拡大する考えは？

A 地域住民の機運醸成を待ち、地域の実情やニーズを把握した上で、丁寧に検討していく。

Q 小学校区ごとに組織を設立し、市職員等を配置しては？

A 有効な手段と考えるが、人材確保・事務局体制・職員の意識醸成・町会との調整などが課題。

Q 市の描く将来像は？

A 地域住民が主体となり、町会と地域運営組織が補完し合いながら、持続可能な地域社会を形成する。

今後に向けて（議員の意見）

- 令和12年には、平川市でも半分以上の町会が限界集落を迎える可能性があり、悠長に構えていられない。
- 今ある人材をうまく活用しながら、スピード感を持って組織づくりを進める必要がある。
- 市職員の退任者も含め、地域運営組織での人材活用を検討してほしい。
- 今まで言いにくかったこともオープンに議論し、よりよい地域コミュニティーづくりを進めたい。

町会を守り、地域運営組織で支える　持続可能で誇れる地域の未来へ